

平成 28 年 10 月 19 日

演題 市内医療機関・介護事業所マップの活用法

1

五十嵐先生のあとを受けて話をさせていただく、高年介護課の伊達です。どうぞよろしくお願ひします。

2

画面の表は、「治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか」について、平成 24 年に内閣府が行った調査結果です。

回答は、「自宅」が 54.6%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が 27.7%となっています。

3

画面は、厚生労働省が今年発表した「平成 26 年度の自宅看取り率」に関する調査結果を兵庫県内版にしたものです。豊岡市が最も高く 25.6%となっており、兵庫県平均で 16.2%、全国平均で 12.8%となっています。

また、兵庫県下のおよそ 2/3 の自治体が全国平均に比べて高い状況にあります。

緑色の豊岡市は県下で 1 位、人口 5 万人以上 20 万人未満の自治体でも全国 1 位と新聞などに大きく取り上げられました。

今、豊岡市では医師会さんや歯科医師会さん、それに介護に携わる方たちなどで連携協議会を作り、「在宅の医療と介護を一体的に提供する仕組み」を創ろうとしています。

何のための医療と介護の連携か。

それは、『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで』の実現が狙いです。

4

自宅看取り率日本一の理由を分析するために、要因と考えられる項目をチャートグラフにしてみました。全国平均を 50 とした偏差値で表示しています。

青が全国平均。赤線が豊岡市、緑線が自宅看取り率の最も低い A 市です。

グラフから豊岡市は、①持ち家比率が高く、自宅で家族が見守ることができる。②それを地元の診療所が訪問診療で支え、③訪問看護ステーションの看護師も一緒に支えている。

ーといった要素が複合的に作用して、豊岡市が自宅死亡率全国1位となっているのではないかと考えられます。

市も、また、市民のみなさんと一緒になって、『家の前の道路が病院の廊下であったり、特別養護老人ホームの廊下であったり』するような仕組みづくりを進めています。

5

この画面は、平成26年9月時点で厚生労働省がまとめた「訪問診療実施診療所数」などを表にしたものです。

さきほどのチャート表を実際の数値に置き換えたもので、豊岡市と先ほどの自宅看取り率の低いA市との比較です。

人口も65歳以上人口も大きく違わないのに、自宅看取りが異なる理由。画面で太字にしているところが両市で大きく異なっています。

例えば、「訪問診療を実施している診療所数」や「訪問看護ステーション」、「看護職員数」は2倍、「看取り実施の診療所数」に至っては、1.2倍の違いとなっています。

つまり、開業医の先生方と訪問看護師のみなさんの頑張りが、大きな要因になっているものと考えられます。

6

先ほど申し上げた先生や看護師さん達の頑張りについて、ここで生の声をお伝えします。

まずは、開業医の先生からお話を聞きました。

- ・開業したのは、介護保険制度ができる前だった。今のように特養や老健などの入所施設がなく、診療時間の合間、1日に7件と、がむしやりに訪問診療をした。みんな、私を待っていた。
- ・「おかげで、家で逝けました」ー頑張ってよかった。

とても感動的なエピソードも聞かせていただきましたが、最後に患者さんやご家族から「先生ありがとう。おかげで、家で逝けました。」という感謝のことばが一番心にしみるとおっしゃっています。

かかりつけ医と患者、家族の強い絆を感じます。

7

次は訪問看護師の方の声です。画面に記載のとおり、夜間や積雪のある冬場にはかなりの苦勞をされている実態が見えてきます。

豊岡市の在宅医療は、訪問看護ステーションのみなさんの並々ならぬ努力により支えられているといえます。

8

患者さんにとって「病院はアウェイだけれども家はホーム」。「いつもの景色、音、匂いが安心と安らぎを与え、表情が穏やかになったり、便通が良くなったり、とにかく家が一番。うちでええあんばいに暮らしたい」を全力で支えますーというのが、訪問看護師さんたちの思いです。

9

さて、本日の演題です。配布をさせていただいた「市内医療機関・介護事業所マップ」です。これは今年の3月に全戸配布させていただきましたので、ご覧になった方もあろうかと思えます。

作った理由は、介護保険の申請で私ども高年介護課にお越しになった方には、市内の事業者一覧表をお渡ししていましたが、一覧表では、「事業所がどこにあるのかわからない」、「自宅の近所に事業所はないの」といったお声をいただいたことからです。

マップには、医院・歯科医院・薬局とともに、介護サービスの計画を作るケアマネジャーがいる居宅介護支援事業所も掲載しています。

実はこれをつくるとき、日ごろから高齢者や介護者に接しておられる医師会の先生方から、「字が小さい。もっと大きく」など相当な注文がきました。

それでは、マップの具体的な見方などを説明させていただきます。

＝ 具体的見方説明 ＝

押し売りみたいで申し訳ないのですが、せつかく作成したものですので、ぜひ活用いただきますようお願いいたします。

10

最後にひとつお願いがあります。

私どもがいつも市民の方にお話しさせていただいておりますのは、「無理して市役所に来ようとしないで」ということです。

お電話いただいたら、地域包括支援センターの職員などがお伺いしますので、例えばご近所で困っておられる方がありましたら、「電話してみたら」一言っていただければ、大変たすかります。

以上です。ありがとうございました。